



【教育目標】 小樽の未来をつくる北陵生の育成
【重点】 「15の春をみんなで考えよう」 ～小中一貫教育の継承と進化～

学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）について

本校は、平成31年度に学校運営協議会制度を導入し、コミュニティ・スクールとなって今年で6年目です。コミュニティ・スクールは、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校づくり」への転換を図るための有効な仕組みです。子どもや学校の抱える課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、社会総がかりでの教育の実現が不可欠です。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていきます。

コミュニティ・スクールの主な3つの機能

- ①校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
- ②学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べるができる。
- ③教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる。

第1回学校運営協議会の中で頂いたご意見等（4月22日開催）

①地域との交流・連携について

6月に実施された全校清掃活動は町内会を知ってもらう良い機会となっている。また、2年生の2学期に行われた「服の力」プロジェクトでは生徒が地域の方と対話することで、地域とのつながりを深め、地域の活性化につながる活動になったり、服の寄付を通して世界とつながっていることを実感できるなど生徒の育成を図る取組となっている。今後も地域と一体となった取組として継続してほしいというご意見を多く頂きました。

令和6年度の学校運営協議会の委員名簿

②学力の向上について

これから生きていく子どもたちにとって、コミュニケーション能力はとても大切な要素である。国語科を中心としてコミュニケーション能力が向上するような取組に期待している。

また、本校の数学科で実施している習熟度別少人数指導について質問がありました。本校では学力向上対策として、全学年で2学級を3学級に分けて習熟度別に授業を行っていることを紹介させて頂きました。

③部活動について

本校に設置している部活動や今年度から新たに男子バレーボール部と野球部が拠点校方式になること等を紹介させて頂きました。

番	職名	氏名	役職・経歴等	就任年月日
1	会長	遠藤友紀雄	丸い遠藤商店代表 元北陵中学校評議員	R6.4.1
2	副会長	村岡 亘	北陵中学校前 PTA 会長	R6.4.1
3	委員	佐藤 健一	清水町会会長	R6.4.1
4	委員	北川 和子	小樽民生児童委員協議会 民生主任児童委員	R6.4.1
5	委員	相嶋健太郎	社会福祉法人ノマド福祉会 ケアハウス「はる」施設長	R6.4.1
6	委員	長谷川良子	北陵中学校 PTA 会長	R6.4.1
7	委員	堀渕 陽子	北陵中学校 PTA 副会長	R6.4.1
8	委員	野沢 紘子	北陵中学校 PTA 副会長	R6.4.1
9	委員	吉岡 智尋	北陵中学校長	R6.4.1
10	委員	高橋 進久	北陵中学校教頭	R6.4.1
11	委員	福井 学志	北陵中学校主幹教諭	R6.4.1